

福岡県立図書館開館百周年記念

平成30年度福岡県読書推進大会開催



福岡県立図書館マスコットキャラクター「ふっきょん」

福岡県立図書館では、11月18日（日）に福岡市東区箱崎の福岡リーセントホテルにおいて、県立図書館開館百周年の記念と併せて、今年度で50回目となる福岡県読書推進大会を開催しました。

記念式典

式典では、小川 洋 福岡県知事の式辞に続いて、井上 順吾 福岡県議会議長による祝辞をいただき、200名以上の来場者が詰めかけた会場は、祝賀ムードに包まれました。

続いて、優良読書グループとして布絵本製作ボランティア「ゆずりはの会」の表彰と、県立図書館の充実振興に貢献があったボランティア団体「音訳の会」と「本の楽しさおとどけ便」への感謝状贈呈、更に県立図書館の百年の歴史を、所蔵資料を使用して映像にまとめた「県立図書館の歩み」の上映などが行なわれました。



なお、県立図書館では「福岡県立図書館の100年」と題して、本館正面玄関横の企画展示室で、県立図書館の歴史を時代ごとにまとめたパネルや、関連の書籍や資料などを12月27日（木）まで展示しています。

記念講演会

「歴史小説と図書館」～私と図書館の関わり～

講師：安部 龍太郎氏（直木賞受賞作家）

引き続き行われた記念講演会で講師を務めた安部氏は、執筆の際の事実を調べることの大切さや、知識の集積地としての図書館の重要性について、時にユーモアを交えながら熱弁を振るわれ、来場者からの質問にも答えるなど、当初の予定時間を超過して大盛況のうちに終了となりました。

